

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 3 月 7 日 (2013.3.7)

【公開番号】特開 2012-254946 (P2012-254946A)

【公開日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2012-055

【出願番号】特願 2011-127570 (P2011-127570)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/06 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/41

A 6 1 K 8/34

A 6 1 Q 5/00

A 6 1 Q 5/06

A 6 1 Q 5/12

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 18 日 (2013.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の (A) 成分であるメドウフォーム種子油のラクトン誘導体は、メドウフォーム種子由来の脂肪酸から得られるラクトン誘導体である。例えば、有機合成法あるいは植物 (例えばメドウフォームやマメ科植物、ゴマ科植物、ホホバ科植物、モクセイ科オリーブ属植物、イネ科トウモロコシ属植物等の実や種子) からの抽出精製法等の既知の製造方法あるいはそれらの組み合わせにより得られる。このような誘導体としては市販品ではファンニング社製のメドウラクトン (登録商標)、一丸ファルコス社製のメドウラクトン VE (登録商標) などが適当である。具体例としては下記一般式 (1) で表される化合物である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

【表 1】

	配合成分 (%)	実施例						比較例				
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
成分	(A) ラクトン誘導体※1	0.1	0.1	0.5	0.5	1.0	1.0				0.1	0.5
	(B) 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	0.5		0.5	1.0		1.0	0.5	1.0			0.5
	塩化ジステアリルジメチルアンモニウム		0.5			1.0						
	(C) エタノール	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	80.0	50.0	50.0		50.0	
	ポリオキシエチレン (60) 硬化ヒマシ油			1.0						1.0		
	ジメチコンポリオール			0.5						0.5		
	pH調整剤				適宜					適宜		
	精製水											
	毛髪引張強度 (N/mm <sup>2</sup> )	118.2	117.6	120.8	120.5	123.5	122.7	96.6	98.3	95.5	103.2	108.6
	バサつき・ごわつきのなさ	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	△	△	△	△
	指通り性	◎	○	◎	◎	◎	○	×	△	×	×	△

\*1: メドウラクトンVE (一丸ファルコス社製)